

警 察 署 協 議 会 会 議 録

田川警察署協議会

開催年月日時	令和5年5月10日 午後4時30分 から 令和5年5月10日 午後5時30分 まで	
開催場所	田川警察署 武道場	
出席者	警察署協議会	会長以下8名
	警察署	署長、副署長、地域管理官、刑事管理官、 総務課長、生活安全課長、刑事第二課長、 交通課長、警備・外事係長
議 事 概 要		
<p>【会長挨拶（要旨）】</p> <p>田川警察署の皆様の顔ぶれも変わり、コロナが収束したとは言えない中、会議に多くの方が出席され嬉しく思う。限られた時間ではあるが安全で安心して暮らせる田川を実現するため活発に意見を出していただくようよろしくお願いいたします。</p> <p>【署長挨拶（要旨）】</p> <p>委員の方には、各種警察活動に対する多大なご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。委員の皆様から頂戴した率直なご意見・ご要望については、警察活動へ反映し、ご理解とご協力を更に深めていただけるよう努力する所存であるので力添えをお願いする。</p> <p>【報告事項等】</p> <p>1 暴力団対策と現状について（刑事第二課長）</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 県内暴力団の分布及び勢力の推移</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 工藤会壊滅作戦</p> <p style="margin-left: 20px;">(3) 田川警察署の取組状況</p> <p style="margin-left: 20px;">(4) 加入防止対策及び離脱・就労支援</p> <p style="margin-left: 20px;">(5) 県内における事業者等襲撃事件の推移</p> <p style="margin-left: 20px;">(6) 準暴力団等への対策</p> <p>2 質疑応答</p>		

議 事 概 要

- 委員から「工藤會幹部に対する死刑判決が出て以降、裁判もまだ続いているが、刑が執行された後、反抗が過激になるんじゃないかとの懸念もある。」旨の質疑があり、刑事第二課長から「現在は組員の数も減少し、以前と比べ活発な活動は見られないが、工藤會総裁や会長等に対する信仰心の強い組員がいまだ活動しているため、引き続き事件捜査や保護対策を強化している。」旨の回答があった。
- 委員から「工藤會が衰退した後に、他の団体同士で新たな縄張り争いがあるんじゃないか。」との質疑があり、刑事第二課長から「他の団体の動きを注視している。」「更に今後は、反グレ集団と言われる準暴力団が暴力団のように地域に根付かないような対策をとっていく必要がある。」旨の回答があった。
- 委員から「暴力団対策の話があったが、田川地区内の状況に変化があれば教えてほしい。」旨の質疑に対し、刑事第二課長から「田川地区で主に活動しているのは太州会だが、太州会の中でも活発に活動していた太州会傘下の組幹部を逮捕したことにより、表立った活動は少なくなっている。」「しかしながら、目に見えないところで活動していることも考えられることから、引き続き太州会に関する情報提供等をお願いします。」旨の回答があった。
- 前回開催時(同年2月)委員から受けた「地元の中学校の前に横断歩道が設置されておらず、中学生達が中々道路を渡ることができないため、横断歩道を設置してほしい。」との要望について、交通課長から「横断歩道設置に必要な道路の改良のほか、街灯の設置等について申入れを行うなど、更に検討していく。」「横断歩道を設置するために可能な条件がそろえば正式な手続きに移行する。」旨の回答があった。
- 委員から「令和4年中に田川警察署が受けた、単身女性のストーカー被害等を含むDV等の相談件数、未成年の虐待等の相談件数について教えてほしい。」「DVや児童虐待等の被害を受けた方々に携る仕事をしている者として、被害者への対応状況も併せて教えてほしい。」旨の質疑があり、生活安全課長から「令和4年中、田川警察署管内の受理件数は、配偶者間や交際間の暴力であるDVが96件で前年比+18件、ストーカーについては41件で前年比-28件となっている。」「ストーカー・DV等は、人の命に関わる人身関連事案として警察本部内にも専門的に取り扱う部署を設けて組織で対応している。」「暴行や傷害事件を刑事部門と連携して処理することはもちろん、生活安全課としては人の命を最優

議 事 概 要

先に考え、危険性の説明をして避難を促すなどの被害防止対策を行っている。」
「シェルター等へ避難してもらうため説得が長時間に及ぶこともあるなど、対応の難しさを感じている。」「次に児童虐待として児童相談所へ通告した件数については、165件で前年比+4件、通告に至らない情報提供件数は64件で前年比+9件であった。」「通告の内訳として、身体的虐待、ネグレクト、性的虐待及び心理的虐待の4つに分類され、子どもの前で夫婦喧嘩をする面前DVを含む心理的虐待が最も多く110件となっている。」「子どもの命に関わる場合は、児童相談所と連携し対応しているが、児童相談所への通告は警察だけでなく、学校、病院及び近所からの通告の件数も含まれる。」旨の回答があった。

- 委員から「決して少ない数字ではないと感じた。」「被害を減らす対策に加えて、加害者側の更生プログラムのような対策があればいいと思う。」旨の意見があった。

3 田川警察署の令和5年3月末現在の治安概況（署長）

- (1) 暴力団関連犯罪の検挙状況
- (2) 飲酒運転による交通事故発生状況
- (3) 性犯罪の発生状況
- (4) 刑法犯認知件数
- (5) 交通事故発生状況
- (6) ニセ電話詐欺発生状況

【閉会】

以上で、第1回田川警察署協議会を閉会する。

